

栗中だより

全国学力・学習状況調査
結果分析 2025.10 発行



4月15日（火）、17日（木）に行われた「令和7年度全国学力・学習状況調査」の本校の結果についてお知らせいたします。調査のねらいを踏まえ、子どもたち一人ひとりが「分かる喜び」や「学ぶ楽しさ」を感じることのできる授業となるよう、今後も改善に努めてまいります。ご家庭でも、ご支援、ご協力をお願ひいたします。

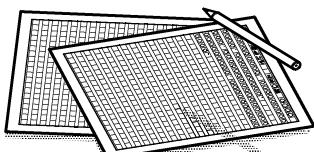
〈分析結果の表記について〉

- ・「さらに伸ばしたい部分」：本校の強みの部分をさらに伸ばすための取組
- ・「課題として取り組む部分」：本校の弱みの部分についての改善策

教科に関する結果から

『国語』について

さらに伸ばしたい部分	課題として取り組む部分
<p>○「発表のまとめの内容をより分かりやすく伝えるためのスライドの工夫について、どのような助言をするのか、自分の考えを書く」など、資料や機器を活用し、自分の考えをわかりやすく伝える工夫ができています。（県平均、全国平均ともに上回る）</p> <p>➡ 今後は、話の内容を踏まえて、話の要点や根拠が明確になっているか、説明が不足していないか、中心となる事柄が強調されているなどを確認しながら、伝えたい内容が適切に伝わるよう、効果的な資料や機器の活用について工夫・検討していきます。</p> <p>○「手紙の下書きを見直し、誤って書かれている表記や語句を見つけて修正する」など、読み手の立場に立ち、表記や語句の使い方、叙述の仕方を見直して文章を整える力が身についています（県平均、全国平均ともに上回る）。</p> <p>➡ 立場を意識して文章の表現を整えたり、表記の違いを指摘し合ったりする活動を通じて、文章の目的や内容にふさわしい語句を自ら選択できるよう指導していきます。</p>	<p>△「変換した漢字として適切なものを選択する」など、文脈に応じた正しい漢字の使用に課題があります（県平均、全国平均ともに下回る）。</p> <p>➡ 字体・字形・音訓・意味や用法などの基礎的な知識を丁寧に習得させるとともに、適切な漢字を選択できるよう、漢字や熟語の持つ意味や成り立ちについて興味をもって学べる活動に重点を置きます。</p> <p>△「物語の始めに問い合わせが示されていることについて、その効果を説明したものとして適切なものを選択する」など、表現の効果について、根拠を明確にして考える力に課題があります。（県平均、全国平均ともに下回る）</p> <p>➡ 物語全体の構成や展開を的確に捉え、場面や問い合わせの配置がどのような効果を生んでいるのかを考える力を育成していきます。</p> <p>➡ 文章全体や部分の構成を意識しながら、なぜそのような展開になっているのか、どのような意図や効果があるのかを自分の言葉で説明する学習を重視します。</p> <p>➡ また、新しい作品に出会った際には、あとの展開を予測しながら読み進め、構成や展開の効果について考察するような主体的な取組を促していきます。</p>



- 1 第一中学校では、毎年、美術の時間につくった作品を展示する美術展を行っています。今年は、昨年の美術展に来場した小学生の感想をもとに、内容を工夫して開催します。実行委員の中井さんは、地域の小学校6年生に向けて、来場を促すためのちらしを作成することになりました。次は、中井さんが参考にした【第一中学校のウェブページ上のお知らせ】と、文書作成ソフトを用いて作成している【ちらし】です。これらを読んで、以下の問いに答えなさい。

【第一中学校のウェブページ上のお知らせ】



第一中学校

[ホーム](#) [学校紹介](#) [行事予定](#) [学校生活](#) [保護者の方へ](#)

行事のご案内

更新日 令和7年10月3日

美術展の開催のお知らせ

秋の恒例となった「第一中学校 美術展」を開催いたします。各学年の生徒たちは、美術展に向けて作品づくりに励んでおります。ご多忙とは存じますが、生徒たちの力作をご覧いただければ幸いです。ご来校をお待ちしております。

◆開催日時

令和7年11月15日（土） 10時～16時

◆開催場所

第一中学校 体育館

【ちらし】

第一中学校 美術展



毎年、秋に行っている第一中学校の美術展のお知らせです。

私たちが美術の時間につくった作品を展示します。どれもかいしんの出来です。

今年は、中学生による作品の説明や小学生向けの体験コーナーもあります。体験コーナーでは、中学生と一緒に、好きな色のタイルを貼って自分だけのベン立てをつくることができます。

日 時 令和7年11月15日（土） 10時～16時

場 所 第一中学校 体育館

会場図



会場図

受付

1年生の作品
(水彩画)

2年生の作品
(ポスター)

3年生の作品
(版画)

体験コーナー
(ベン立てづくり)

出入口

体験できる時間（各回30分間）
●10時～ ●11時～ ●12時～ ●13時～

一 中井さんは、【ちらし】の——觀應「かいしん」を漢字に変換しようとしています。漢字に変換したものとして最も適切なものを、次の1から3までのなかから1つ選びなさい。

- 1 会心
- 2 改心
- 3 改新

二 中井さんは、【ちらし】に、【第一中学校のウェブページ上のお知らせ】には示されていない「会場図」を加えました。どのような目的で加えたと考えられますか。次の1から4までのうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 小学校6年生に向けたちらしであることを示すため。
- 2 ウェブページの情報を比較しやすくするため。
- 3 会場となる体育館まで迷わずに来てもらうため。
- 4 展示する作品と体験コーナーの内容や配置を伝えるため。

『数学』について

さらに伸ばしたい部分	課題として取り組む部分
<p>○「説明や証明」に関する記述問題が、県平均や全国平均を大きく上回っています。根拠を示しながら、筋道立て書く力が育っています。</p> <p>授業では、対話を通して他者に説明したり伝えたりする活動を取り入れています。そこでの深まりを「書くこと」で定着させる展開が成果として表れていますと考えられます。今後も継続して、説明や証明といった記述問題へ主体的に取り組む工夫を考えていきます。</p>	<p>△言葉の定義について理解を求められる問題で、正答率が40%を切っています。「素数」や「増加量」といった数学用語を確実に理解する必要があります。</p> <p>計算して答えを出すことばかりに目がいき、用語への理解がおろそかになっている可能性があります。授業では、習った用語を適宜確認しながら、意識して生徒に数学用語を使わせてていきます。</p>
<p>○すべての問題において、無解答率が県平均や全国平均を下回っています。あきらめることなく問題に取り組もうとする姿勢が感じられます。</p> <p>日頃から、授業の内容に対して投げ出すことなく真剣に取り組む生徒が多いことが、具体的な数値として表されました。今後も、いかなる問題に対しても投げ出すことなく、粘り強く問題に取り組むことができるよう、生徒が意欲的に参加できる授業を目指します。</p>	

数学 【課題として取り組む部分】の問題例

※ 出典 『国立教育政策研究所』

- 1 下の 1 から 9 までの数の中から素数をすべて選び、選んだ数のマーク欄を黒く塗りつぶしなさい。

1 2 3 4 5 6 7 8 9

- 4 一次関数 $y = 6x + 5$ の変化の割合は 6 です。この一次関数について、 x の増加量が 2 のときの y の増加量を求めなさい。

『理科』について

さらに伸ばしたい部分	課題として取り組む部分
<p>○身の回りの事象から生じた疑問を解決するための課題を設定する問題では、全国、県平均を大きく上回っています。</p> <p>➡今後も生徒が課題を持って学習に臨める授業づくりに努め、さらに新たな課題を自分で発見できる授業展開を目指していきます。</p> <p>○新たな疑問や身近な生活との関連などに着目した振り返りを表現する問題の正答率は、全国、県平均を上回り、9割を超えていいます。</p> <p>➡授業ごと、また単元を通しての振り返りを継続とともに、その書き方についても引き続き学習していきます。</p>	<p>△塩素の元素記号を記述する問題の正答率が県平均を下回っています。</p> <p>➡定期的に既習事項の基礎知識に関する問題に取り組むなど、生徒自身に復習する習慣がつくように働きかけていきます。</p> <p>△空間的な見方を働かせて、ボーリング調査の結果をモデルで表す問題の正答率が県平均を下回っています。</p> <p>➡図や表、グラフから必要な情報を正しく読み取り、それを活用する力がつくような授業や演習問題に取り組みます。</p>

理科 【課題として取り組む部分】の問題例

※ 出典 『国立教育政策研究所』



(5)

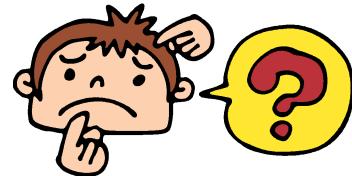
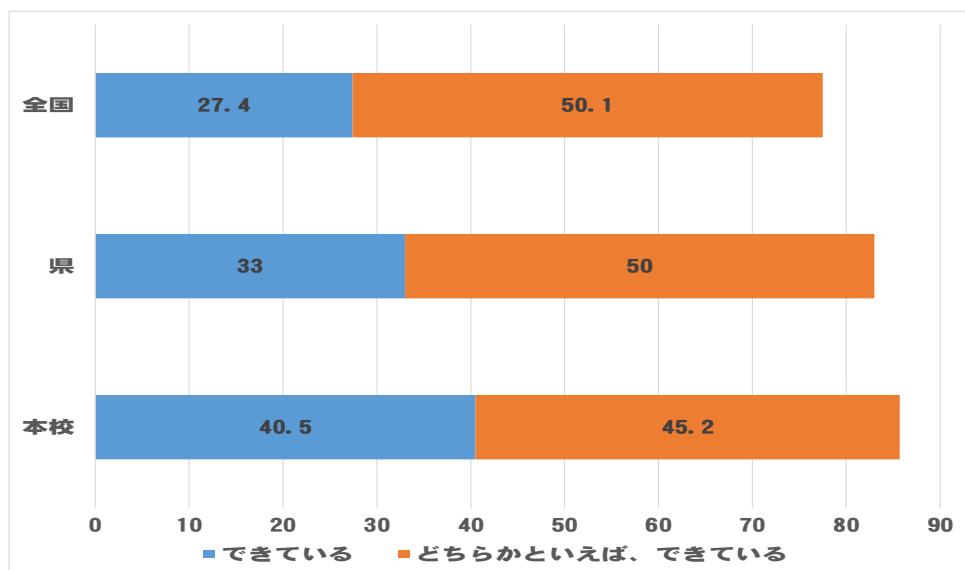
大文字、小文字を区別して、下線部の元素記号を書きなさい。

解答欄

生徒質問紙の結果から

さらに伸ばしたい部分

○分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか [単位%]

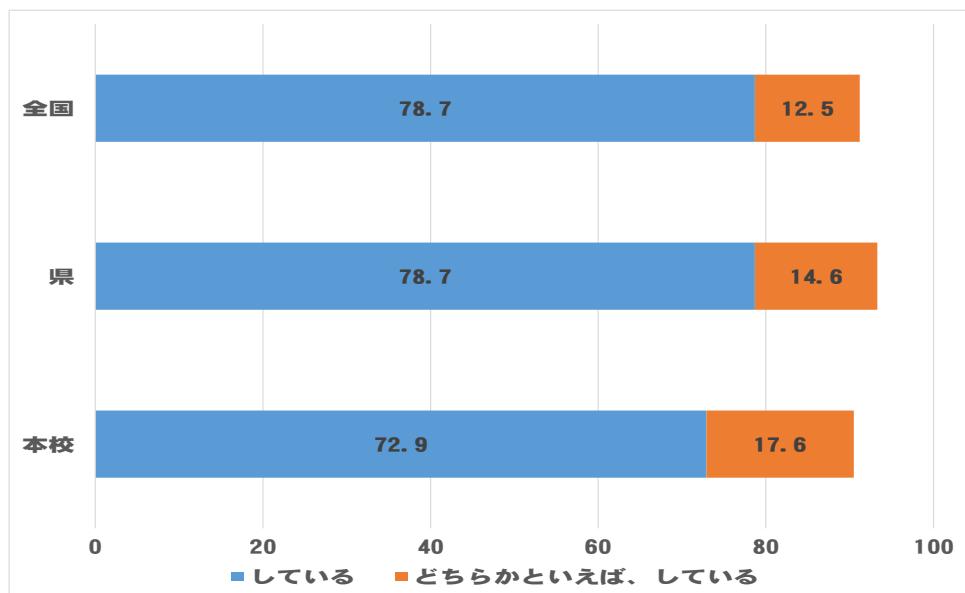


○さまざまなことに興味・関心を持ち、課題解決のための筋道を立てて学ぼうとする、主体的な学習態度が身についています。

→ 生徒が考えたくなるような学習課題やしきけを、今後の授業でも設定していきます。また、今年度から本格的に取り組み始めた探究学習もより内容を充実させていきます。

課題として取り組む部分

△朝食は毎日食べていますか [単位%]



△昨年度と同様に、毎日欠かさず朝食を食べる生徒の割合がやや低い傾向があります。

→ 朝食を毎日吃ることの大切さを、授業や学活、部活動など、あらゆる場面で伝えていきます。また、栄養教諭と連携し、食育を進めていきます。ご家庭でも、お子様の健やかな成長のためにご協力いただきますよう、お願ひいたします。